

CEATEC 特別シンポジウム

「災害を乗り越えて安心・安全でスマートなICT社会構築へ」

東日本大震災で揺らいだ 社会インフラの信頼を回復する取り組み

2011年10月6日

**株式会社 日立製作所
執行役社長**

中西 宏明

1. 日立グループの震災復興に向けた推進体制

日立グループ震災復興統括本部

本部長：中西宏明

復旧支援チーム

- ・被害状況、支援要請等の情報の一元化
- ・支援物資、住宅提供等の支援施策の推進

福島サイト対策チーム

- ・緊急支援対策

復興戦略検討チーム

- ・ステークホルダーの動向分析・予測
- ・中長期戦略、BCP戦略の立案

復興対策チーム

- ・生産復興計画の策定と実行
- ・事業拠点の再配置を含めた戦略検討

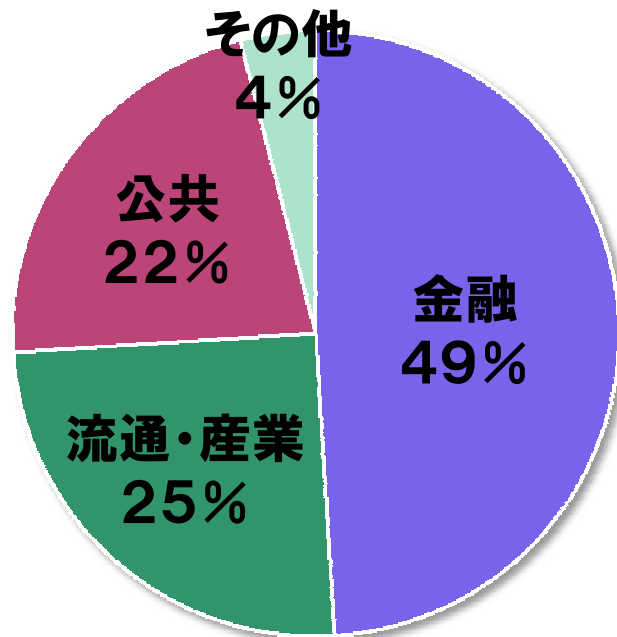
復興支援チーム

- ・官公民合わせた復旧・復興の支援

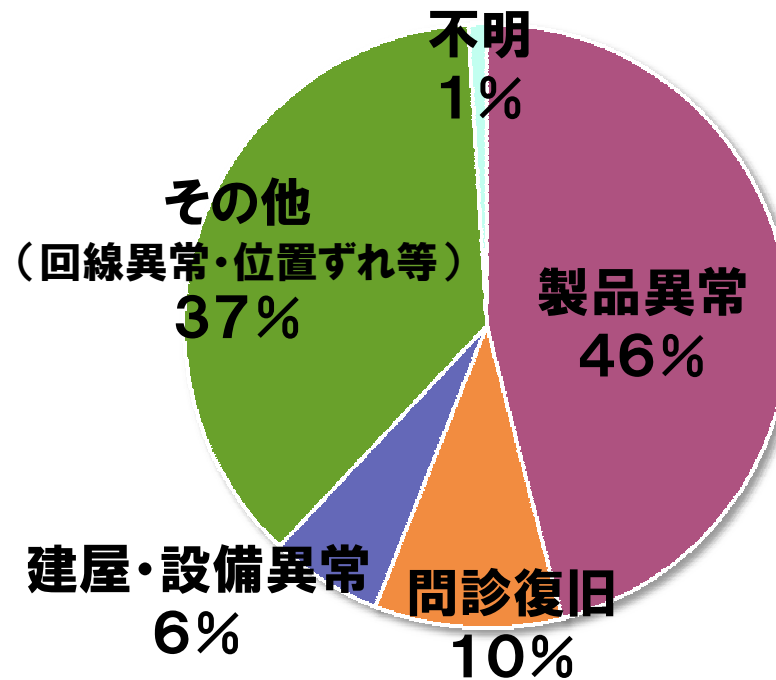
- ・各チーム責任者は副社長

2. お客様のICT被災状況

《産業別対応状況》



《被害区分別状況》



(2011年6月30日時点)

- 金融系機器が多く被災 → 市民生活に密接な関わり
- 地震・津波による情報機器破損が多い

3. ATMの復旧作業

●被災機器の状況



●支援内容

- 被災ATMからの現金回収
- 水没機器の回収

- 立入禁止区域での保守
- 行方不明の機器の搜索

4. 被災エレベータの復旧作業

● 緊急車両による応援部隊の派遣

・震災当日(21:00) 第1陣出発

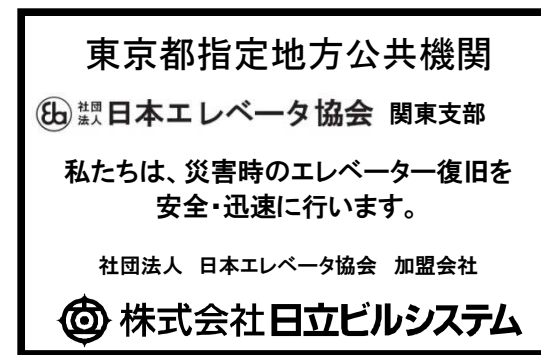
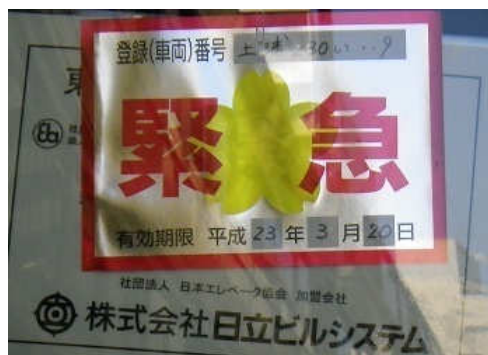


● 緊急車両登録

・3月13日:国交省が警察庁交通局へ、緊急通行車両の確認証明書発行の迅速化依頼

都度申請が必要

- ・地域・期間限定
- ・車両限定(運転者特定)



5. 地震時の復旧作業を迅速に

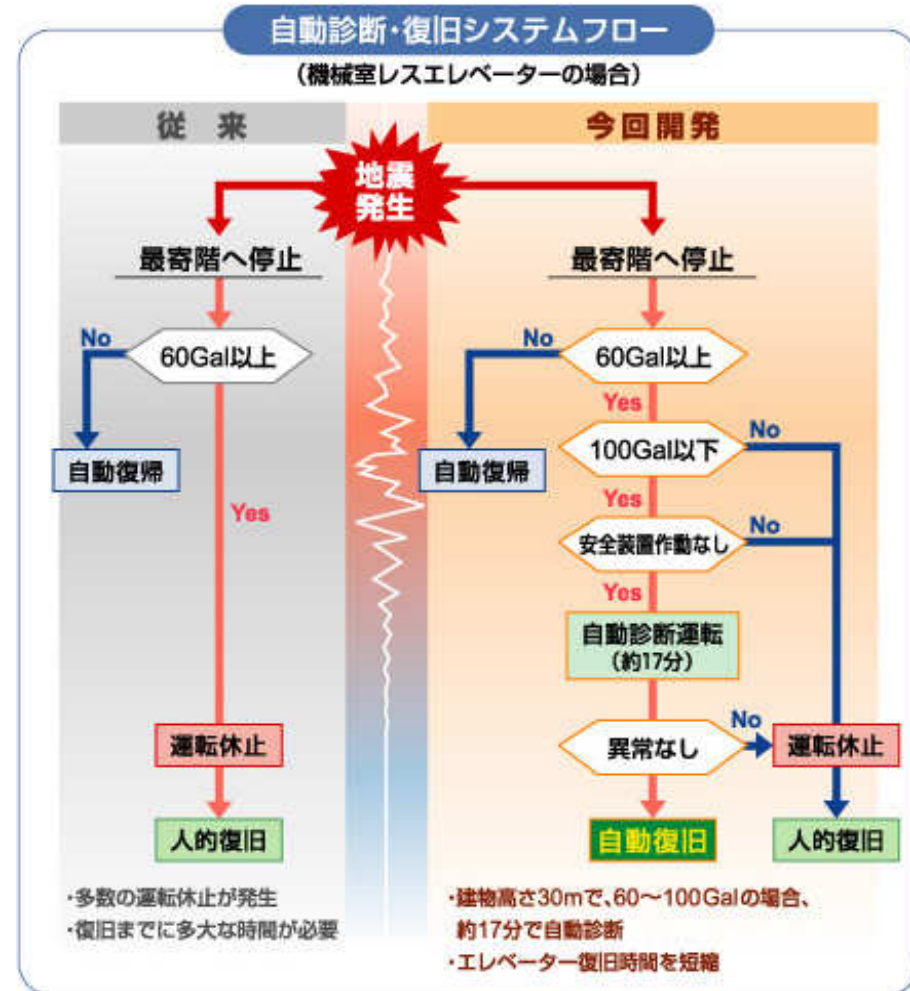
地震時エレベーター自動診断・復旧システム《ヘリオドライブ》

震度5弱程度の地震発生時

- かご・昇降路内を自動診断、地震後の復旧時間を短縮
- 自動診断時間を短縮
(建物高さ60mで復旧まで約30分)
- ボタン操作の有無、乗客の重さ検知などで乗客有無確認

技術員の到着を待たずに利用可能

自動復旧後、技術員による点検を実施し、正常復帰



6. 復旧支援の実際（1）

復旧支援内容

被災者支援システム

- LASDEC*に登録されている被災住民の安否、義援金支給管理、罹災証明書の発行などを行うシステムを稼働

*:LASDEC:(財)地方自治情報センター

コンテナ型データセンタ（外置きタイプ）

- マシン室が被災したユーザ向けに、外置きコンテナ型のデータセンタを提供（空調、UPS内蔵）

テレビ会議

- 移動手段の確保が困難なユーザ向けに、テレビ会議システムを提供

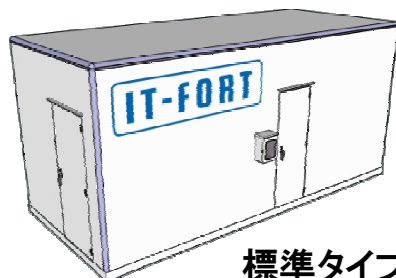
無線LANルータ

- 通信手段が途切れたユーザ向けに、免許不要で干渉の少ない無線LANルータを提供

7. 復旧支援の実際 (2)

コンテナ型データセンタ (外置きタイプ)

短期間で導入、高い電力使用効率(PUE*値1.2以下)をめざす



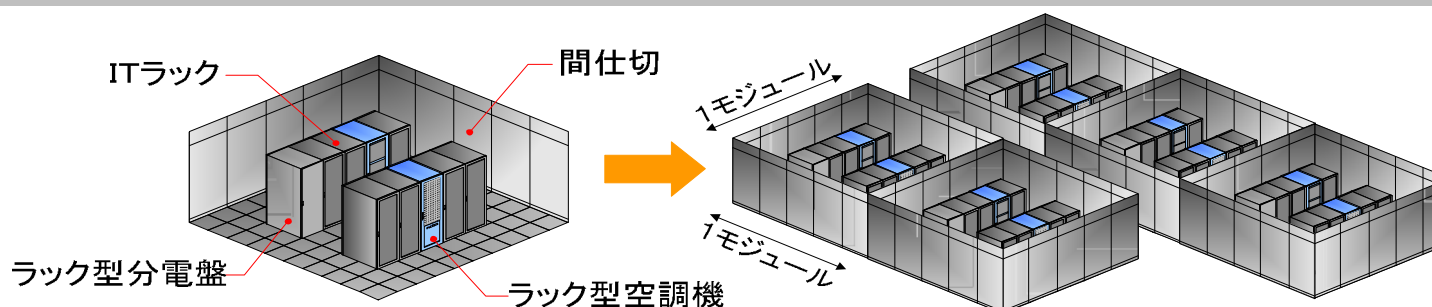
標準タイプの外観

- 導入から運用をワンストップで提供可能
- 屋外へ設置可能 (建築基準法、消防法をクリア)

*PUE: Power Usage Effectiveness

モジュール型データセンタ

データセンタの収納量を柔軟に設定可能



- 設備やレイアウトをモジュール化(規格化)し、短期間に構築
- 最小構成(1モジュール)から構築し、モジュール単位に増設

8. ITガバナンスとBCP

Plan

IT計画立案/方針の展開

- BCP観点を取り入れたITの推進計画策定を各グループに依頼

Do

IT計画支援施策

- データセンタ
堅牢なデータセンタでのホスティングサービス提供
- セキュリティPC
機動性を高めるデータセンタへのリモートアクセスとデータ保全サービス
- シェアードサービス
企業PFと主な経営PFのシェアードサービス
- コミュニケーション
多彩な手段提供(安否確認システム、SNS/Wiki等)

See

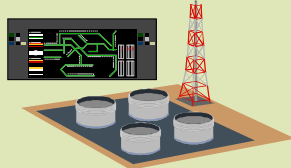
IT計画の推進状況確認

- BCP観点も取り入れたIT自己監査の展開
- 各グループのIT計画の進捗状況把握

9. より信頼される社会基盤構築にむけて

● 都市の経営の見える化

環境行政支援



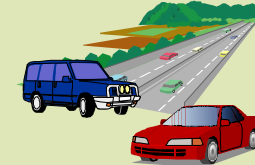
- 環境アセスメント
- 都市エネルギー管理

防災行政支援



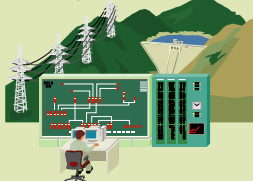
- 津波・洪水シミュレーション
- 被害推定、ハザードマップ

道路交通行政支援



- 交通需要シミュレーション
(VICS*、交通センサス活用)

都市施設管理・保守



- 埋設物管理
- 道路保守効率化



都市空間 データベース

公共交通計画支援



- 鉄道・バス需要評価

都市の経営という視点から、動的な情報も含めて一元化して利用

HITACHI
Inspire the Next